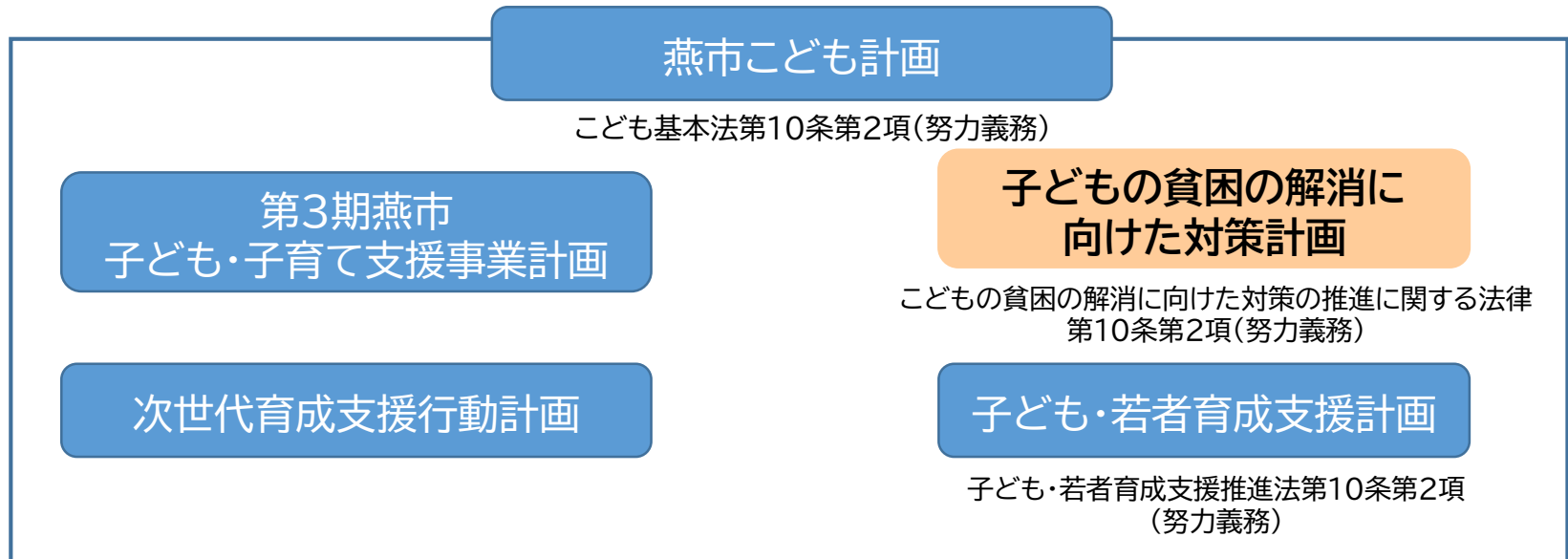


子どもの貧困対策検討会議の統合について

①子どもの貧困対策について

- ⇒市では、子どもの貧困対策を推進するため、平成29年度に子どもの貧困に関する実態調査を実施するとともに、平成30年度から「燕市子どもの貧困対策検討会議」を設置し、子どもの貧困対策に関する施策の協議や進捗管理などを行ってきました。
- ⇒令和7年3月に策定した燕市こども計画は、子どもの貧困の解消に向けた対策計画を包含させ、一体的に取り組むものとなりました。これにより、子どもの貧困対策に関する施策を「燕市子ども・子育て会議」で一体的に審議することとします。
- ⇒そのため、こどもの貧困対策検討会議は役割を終え、子ども・子育て会議に統合という形で、令和6年度末をもって廃止いたしました。なお、子どもの貧困対策検討会議の構成委員の中から、子ども・子育て会議と重複していない「弁護士」及び「子ども食堂の運営団体の代表者」から委員として新たに加わっていただくこととします。



子どもの貧困対策検討会議の統合について

②子どもの貧困対策検討会議の検討経過等について

- ・市の子どもの貧困対策の施策・事業について進捗状況を毎年確認
- ・児童扶養手当申請者と就学援助認定者に対して、毎年「心配ごと等に関するアンケート」を配付し、希望者に対して各課での相談支援や弁護士による悩みごと相談会を継続して開催
- ・その他、こども食堂の運営状況の確認や次年度の事業の方向性などについて意見交換を行ってきました。

⇒次ページ以降に「子どもの貧困対策検討会議」の組織について参考資料を添付します。

③子どもの貧困対策を検討するための委員について

(1)新潟県弁護士会 会員 江澤 和彦 様

⇒新潟県弁護士会と「燕市における子どもの貧困対策についての連携協力に関する協定」を締結しています(平成31年4月26日)。引き続き、子ども・子育て会議委員として委嘱します。

【協力内容】

子どもの貧困対策に関わる会議への参加、担当職員に対する講習、子育て世帯の悩みごと相談に応じる事業への弁護士の派遣、紹介など

(2)白山町みんなの食堂 代表 岩田 慶子 様

⇒燕市内では、こどもたちに食事を提供する地域コミュニティとして、民間の運営団体がこども食堂を開催しています。こども食堂は、小さな子どもからお年寄りまで、地域住民の繋がりを深める交流の拠点となっています。燕市では、こども食堂への支援として、運営に関する相談や運営費の助成など活動のサポートを行っています。引き続き、子ども・子育て会議委員として委嘱します。

⇒次ページ以降に「市内こども食堂の概要」について参考資料を添付します。

【参考】燕市子どもの貧困対策検討会議の組織について

- 所掌事項…子どもの貧困対策の推進に必要な施策等の協議及び検討及び進捗管理を行う。
- 組織…①識見を有する者、②教育関係者、③福祉関係者、④市長が必要と認める者 で構成。
- 性質…附属機関以外の協議会。一時的な検討を求める機関のため計画の審議等は所掌外。
- 設置等…平成30.5.30～R7.3.31まで

【参考】R7.3.31時点の委員の状況(11名)

①有識者	新潟県立大学教授
	新潟県弁護士会 (1)
②教育関係者	小学校校長会
	中学校校長会
	保育園園長会
③福祉関係者	燕市社会福祉協議会
	民生委員・児童委員協議会
④その他	小中学校の発展を願う市民の会
	燕・弥彦PTA連絡協議会
	白山町みんなの食堂 (2)
	食生活改善推進委員協議会

(1)県弁護士会
江澤 和彦 様

(2)白山町みんなの食堂
岩田 慶子 様

※赤のフォントは、「子ども・子育て会議」と個人又は所属団体が重複していた委員です。

【参考】市内こども食堂の概要

R7.4.1現在

No.	名称	開催場所	開催頻度	参加費
①	つばめ地域食堂 (H29.12～)	吉田東栄町自治会館	月1回	無料
②	白山町みんなの食堂 (H30.4～)	白山町二丁目集会所	月1回	幼児：50円 小学生：100円 中学生以上：200円
③	おたがいさま食堂 (H30.12～)	重蓮寺 (関崎)	月1回	無料
④	みなみくーちゃん食堂 (R4.8～)	コミュニティセンター殿島	月1回	幼児：50円 小学生：100円 中学生以上：200円
⑤	フードバンクつばめ こども食堂 (R5.12～)	つばめベース	毎週	子ども：無料、保護者：300円
		宮町食堂	長期休暇中の平日毎日	子ども：無料
⑥	分水きずな食堂 (R6.4～)	分水公民館	月1回	子ども：100円 大人：200円
⑦	地域食堂ふらっと (R6.5～)	分水健康福祉プラザ内	月1回	中学生以下：無料 高校生以上：300円

こども食堂の様子▶



▼地元企業からの寄附物品



○こども食堂への支援について

【市】

子どもの居場所づくり支援助成金…こども食堂の運営経費について、
1団体あたり20万円/年を交付。

フードドライブ事業…家庭等で余っている食材を集め、フードバンクへ寄附。

【地元企業】

キッチン用品・野菜などを、運営支援としてこども食堂へ寄附をいただいている。